

ニュージーランド便り NO.53

たんぽぽ通信7月号で「ニュージーランドはほとんど通常の生活に戻った」と書いたところでしたが、8月中旬にコロナウイルスの市中感染者1名が見つかりニュージーランド全土で緊急のロックダウンとなりました。

最も厳しいレベル4のロックダウンということで、学校やお店などは全て閉鎖され、生活に不可欠なサービスのみ継続されています。スーパーマーケット、薬局、ガソリンスタンド、散歩などに行く、またはエッセンシャルワーカー(不可欠なサービスに従事する人)である以外は自宅待機が義務付けられています。

今まで特定の都市での部分的なロックダウンはありましたが、全土でのロックダウンは昨年3月に続き2度目です。昨年のロックダウン中は妊娠中で不安もありながら、赤ちゃんの誕生を楽しみにして過ごしていました。今回のロックダウンは、保育園が閉鎖になった元気いっぱいの1歳の息子と一緒に。私の仕事は障害のある方の日常生活のサポートなので、ロックダウン中は在宅勤務になった夫に息子を託し普段通りに仕事へ行きます。

この度のロックダウンまでは、通常に近い暮らしに戻っていたので、時間ができたらあの友達に会おう、今度新しくできたお店に行ってみよう、「いつでもできる。」と先延ばしにしていました。今回の急遽のロックダウンで改めて思った事は「したい」「しよう」と思ったことは先延ばしにせず、「できる時にする」ということでした。それではまた来月。See you! ブース千尋

「歌は時代を映す鏡」

よく、「歌は時代を映す鏡」と言われます。まさに今月の「昭和レトロコンサート」では、そういった歌が多く発売された、昭和21年～23年のヒット曲をお届けします。昭和21年～23年と言えば、まだ日本中に焼野原が残っていた時代です。

戦後の歌謡曲といえば、連合軍(GHQ)のレコードへの検閲が始まり、ラジオ放送や映画の台本までが検閲の対象となっていました。そんな戦後の検閲を受けた歌謡曲の第1号が誰もが知る「リンゴの唄」(昭和21年)でした。リンゴが簡単に手に入らない時代、この底抜けに明るい歌で、どれだけ戦争で打ちひしがれた国民が勇気づけられたことでしょう。またリンゴ同様に「リンゴの唄」のレコードも材料、燃料不足で発売枚数が少なく入手困難な状態で高値で取り引きされていた程でした。主に「リンゴの唄」は、ラジオの電波にのって日本中の国民を勇気づけました。

昭和22年には、戦争で親や兄弟、仕事も失い夜の町に立つ事しか生活のすべがなかった女性たちを歌った「星の流れに」が街には流れ、また戦災孤児たちを歌った、ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」の主題歌「とんがり帽子」は、子供たちの間で大ヒットしました。昭和23年には、シベリアに抑留されていた、作曲家、吉田正が極寒の地で過酷な労働の中、次々に倒れていく戦友たちを歌で勇気づけようと作曲した「異国の丘」が、吉田正よりも先に祖国、日本へ帰り、NHK「のど自慢素人演芸会」で歌われ、日本中で話題となり、レコード発売されました。

今月の「昭和レトロコンサート」はまさに「歌は時代を映す鏡」が満載だった昭和21年～23年のヒット曲の数々をたっぷりお届けします。

昭和レトロコンサート

歴史あるコロムビアレコードの戦後のヒット曲の数々をお楽しみ下さい

あの頃の頃「国破れて山河あり」昭和二十一年～二十三年ヒット曲集


「かえり船」「とんがり帽子」「星の流れに」

日時 九月一日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分～十五時
 九月二十二(シニアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分～十五時

懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください

【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)

【お問い合わせ】山根(ミント) 中村(ケアハウス)



たんぽぽ通信

9月1日発行 175号
 ケアハウス王喜の郷 令和3年9月号

ホームページ <http://www.ryokujyukai.jp>

2回目のコロナ予防接種を7月末で終え、さて皆様の外出や面会を少し緩めようかと考えていた矢先に爆発的なコロナ罹患者が全国的に出てきました。子供達や20歳代、30歳代の若い方々に多く出ています。緩和をひっこめるとともに、外出規制や、予防を再度お願いしています。

御存知のように9月1日は防災の日です。大正12年9月1日の関東大震災にちなんでいます。明治25年生まれ私の祖父が丁度その日東京に居り、命からがら下関の自宅に帰ってきたことを幼いころに聞いたことがあります。

私ども職員は災害に備えての避難訓練もやりますが、BCP(ビーシーピー)という、災害が起こっても日常生活をどのようにして続けていくかという備えや訓練を行いそれを文書化するように義務付けられています。例えばコロナが施設で発生しても罹患者以外の方々がいつものような日常生活をどの様にして送っていきけるか。職員の手配や食べ物の供給、どのような災害でも生活は続きますし、いたずらに気に病み精神的に参ることも無いようにしていく事などです。

災害は突然やってきますし、予測が出来ないことも多く起こります。必ず職員が指揮を行いますので一緒に乗り切りましょう。ご協力ください。
 施設長 末谷千秋

9月のお誕生日&行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 昭和レトロコンサート(ケアハウス)	2	3	4
5	6	7 白露	8	9 重陽の節句	10	11
12	13	14	15 13:30~ビューティーヘルパー 理・美容	16	17	18
19	20 敬老の日 彼岸の入り	21 十五夜 13:30~ビューティーヘルパー 美容	22 昭和レトロコンサート(シニアハウス)	23 秋分の日 彼岸	24	25
26	27	28	29	30		

*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
 ***ビューティーヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。
 ****イズミ行き:午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
 *****レトロコンサート:午後1時半～3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円
 ****ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

ミントの家 山根 徹

ケアハウス王喜の郷

はじめまして、新人の「吉坂(よしさか)」です。
「ケアハウス王喜の郷」に6月下旬からお世話になります。私事で恐縮ですが今年3月末に前職場を退職(再任用終了)するまでは、先輩から「汗をかけ」と言われ続けておりました。退職後は、何をして「健康維持」しようかと考えていたところ、こちらにお世話になる事ができました。
前職場でかく「汗」は、専ら「冷や汗」でしたが、こちらにお世話になってからは「体を動かす」ことが多くなったこともあり「熱い汗」に変わりました。
ある面、私にとっては幸運でした。
これからよろしくお祈りします。

配食担当 吉坂 学

ケアハウス王喜の郷(厨房)

あなただけがお花が好きですか?ベトナムの美しさを表す花があります。それは蓮の花です。蓮の花はピンクと白がありますがピンクのものが人気です。蓮は外見の美しさだけでなく、蓮の部分には色々な用途があります。蓮根はスープとサラダに使ったりします。蓮の葉はもちこめを包んでおしこきから魅力的な香になります。蓮の実で蓮茶とお粥とお菓子など色々な料理を作れます。高い栄養価の食品です。お正月では蓮のお菓子は欠かせないおやつです。蓮は美しい花なので飾り付けによく使われます。蓮はベトナムの人々の精神生活において多くの深い意味を持つ花であり、女性の優雅な美しさを象徴しています。ベトナムの伝統的な衣装でアザイを飾るために使用される花です。

厨房 レーティウエン

王喜の郷デイサービスセンター

はじめまして、新人介護職員の「岡(おか)」です。入社してあっという間に1ヶ月が経ちました。利用者の皆様の笑顔やお話させていただく事で毎日、元気をもらっています。
さて、デイサービスでは身体機能向上の体操と共に、頭の体操(脳トレ)も行っています。
“「む」で始まる3文字の言葉は?”の質問に、私は恥ずかしながら1つも思いつきませんでした。利用者の皆様からは次々と言葉が飛び出していました。答えが出なくても考える事で脳が活発に働きます。他にも、「楽しい」、「ワクワクする」といった感覚を味わっている時も脳の活性化が図れるそうです。
これからも皆様に「楽しい!!!」を感じていただけるように努めてまいりますので、よろしくお願い致します。
介護職員 岡 幸恵

グループホーム王喜の郷

暑さのなかにも、秋の気配がだんだん感じられるようになって来ました。
8月は雨の日が多く、外気浴がなかなか出来ません。入居者の皆さんは雨空を恨めしそう眺められ「外に出たいねえ」と口々に言われていました。
外気浴が出来ない日は、骨や足の筋肉が弱らないよう、廊下を何回か往復したり、立ち上がり訓練、足の体操を個別に行いました。
訓練には「1、2、3、4・・・!!!」と大きな声で数をかぞえながら一生懸命に取り組まれました。
7月、8月で新しく2名の女性が入居され、施設での生活にもだいぶ慣れて来られたようです。
まだまだ暑い日が続きます。室内環境を整えるとともに水分補給をし、残暑を乗り越えたいと思います。
介護職員 奥田 しのぶ

王喜の郷居宅介護支援センター

東京2020パラリンピックが令和3年8月24日から9月5日まで行われています。皆さん障害があってもできるように努力し、さらに目標をもって挑戦されている姿に感動しています。
私たちはケアプランを作成し、利用者の自立支援をして行かなければなりません。一人ひとりの状態をきちんとしっかり把握し、目標を達成できるように細かな対応が必要と思われました。また、私たちだけでなく、多職種連携を図り情報を共有し、同じ目標に向かってチームでの支援も大切だと思われました。
これからもしっかり支援に努めますので、遠慮なくご希望や意見がありましたらお聞かせ下さい。よろしくお祈りいたします。

主任介護支援専門員 野平 千加子

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

ヘルパーは、利用者の方が自宅での生活が継続できるように、サービスを提供しています。
身体的な支援(家事の動作等が行える支援)が多くありますが、訪問すると利用者の方から、「週1回ヘルパーさんが来るのが楽しみで、ヘルパーさんが来ると思うと元気になり動けます。」
「〇曜日が楽しみで、待ち遠しいです。」とお話して頂くことがあります。
ヘルパーが来ることで身体の動きが変わる方、待って下さっている方がいることを励みにして、これからも笑顔で伺います。
手洗い・うがい・消毒に尚一層注意し、今日も元気をお届けできたら、うれしいです。

訪問介護員 山本 美弥子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

この夏は猛暑が続くかと思えば梅雨明けからは豪雨となりました。利用者の方から「自分が小さい頃は雨よりも暑い日が続きよった」との声が聞かれました。天候に恵まれず外に出られない日は、室内での体操や歩行運動、日常生活での手伝いなど、出来ることを行なっています。
レトロコンサートのお知らせ
これまで第4水曜日はグループホームで行っていましたが、開催場所がシニアハウスに変更となります。開催時間等変わりはありません。皆様、懐かしの音楽を聴きに、是非シニアハウスにいらして下さい。お待ちしております。🎵🎵

介護職員 竹永尚正

放課後等デイサービス さくら

夏休みの間、宿題や自主課題に取り組む子、ソファでゆっくり寛ぐ子と、一人一人自分のペースですごしていました。休み中のイベントとして、さくらの庭にビニールプールを大小設置して水遊びをしました。お友達や支援員にバシャバシャ水をかけてケラケラ笑う子、その様子を見て真似して水をかける子、顔に水がかかると急いでプールから出ようとする子、いろいろな様子が見られました。おやつ作りでは、かき氷を行い、イチゴ、メロン、ブルーハワイの中から好きなシロップを子どもたちに選んでもらい、かけて食べました。中には3つのシロップを少しずつかけてカラフルなかき氷を楽しむ子もいました。
来月のおやつ作りはお好み焼きを予定しています。

さくら支援員 松下 美由紀